



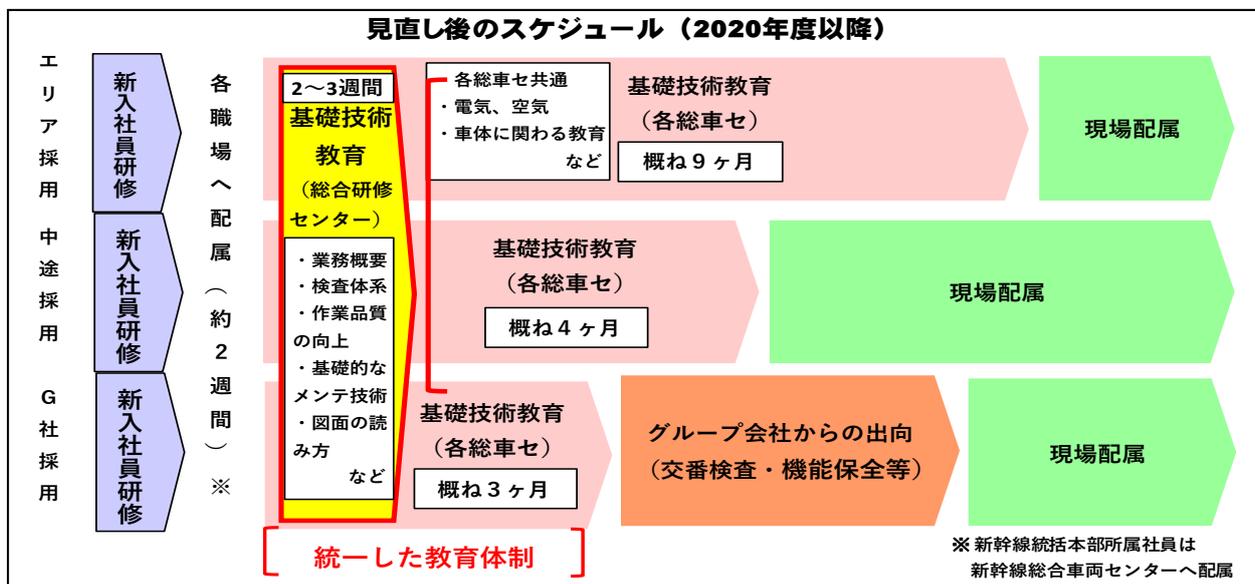
「車両職社員新入社員基礎技術教育の実施方法変更について」の提案を受ける!

本日、会社より「車両職社員新入社員基礎技術教育の実施方法変更について」の提案を受けました。メンテナンス近代化構想Ⅲ期の開始に伴い、2004年度(平成16年度)よりエリア採用(新卒)を対象に、新入社員基礎技術教育が実施されてきました。開始から15年以上が経過し、車両メンテナンスを取り巻く社内外の環境が変化してきていることから、2020年度以降の新入社員基礎技術教育について、総合研修センターを活用する等、実施方法を変更するとしています。

検修職場の技術力が向上する教育としていくことが重要だと考えます。今後、申し入れをして議論していきます!

○主な提案内容

- ・2020年度以降の車両メンテナンスに従事するエリア職採用(新卒・中途)の新入社員基礎技術教育についての変更。
- ・グループ会社の判断はあるが、新入社員等の基礎技術教育をJR本体と行う(任意)
- ・実施日は2020年4月。
- ・スケジュール等の概要は下図の通り。



○主な会社の主張

- ・環境の変化について新卒採用は学歴の変化、中途採用は車両技術の経験のない社員の増加
- ・各支社での教育内容のばらつき、グループ会社にも統一した教育を行いたい。
- ・新卒の基礎技術教育期間の短縮が目的ではない。内容は大きく変わらない。
- ・メンテナンス近代化構想Ⅲ期の時に教育の提案をしている。全社的に統一感を出したい。

教育方法の変更により、どのような効果・メリットがあるのか示すことが必要と考えます
検修職場の技術力の向上を目指すために職場から議論しよう!